



松山 力弥 議長

コロナ禍から コロナ過へ

12月
定例会

令和3年第4回定例会は、12月7日から15日までの9日間で行われました。審議の結果、提案された議案12件を原案のとおり可決しました。また、議員提案の議案および意見書についても可決しました。

令和3年度一般会計補正予算(第7号)
2億3178万円を増額 総額114億4430万円

慢性的な渋滞の緩和へ



道路拡幅に向けて

不動産売払収入

3462万円

県道筑紫野古賀線用地買収にともない、売払収入が発生しました。

現在、宇美町との町境である新原工業団地入口から須恵中央交差点までの区間において、道路拡幅に必要な用地買収が着々と進められています。

前倒しで着手

須恵中央駅前付近は、慢性的な交通渋滞によって、救急車などの緊急車両の走行へ支障をきたしています。

また、地域住民の生活環境にも悪影響を及ぼし、駅の利用者にとっても、車での送迎など大変不便利です。

このような現状を踏まえ、県に対し道路拡幅計画の前倒しを要望し、須恵中央交差点の改良工事は令和4年1月から始まることとします。



須恵中央交差点

令和5年度の完成を目指す

地盤改良工事や舗装工事などを経て、信号機や道路照明灯が新たに設置され、令和5年度の完成が予定されています。

2車線から3車線へ

完成すれば、筑紫野古賀線(双方向)は、右折レーン、直進レーン、左折レーンの3車線になります。

また、須恵中央駅から役場方面に向かっての県道志免須恵線も、同様に3車線になります。

健診結果の閲覧が可能に

住民健診事業にかかる

システム改修委託料

440万円

健診結果等の様式標準化および健診情報連携にともなうシステム改修が行われます。

この事業は、健診結果等の電子化した情報を、転居時に市町村間で引き継ぐ仕組みや、個人が自分の健診結果を一元的に確認できる仕組みを構築するものです。

① 健診結果等の様式標準化

健診機関から自治体へ提出する健診結果の標準様式を、町が管理する健康管理システムに取り込めるように改修します。

② 健診情報連携

町が管理する健康管理システムに登録されている健診結果の一部データを、国が管理するサーバーにも登録できるように改修します。

これにより、市町村間での情報連携ができ、受診者自身がマイナポータルを利用して閲覧することができるようになります。

Q&A

予算審査特別委員会の質疑から

一部抜粋

閲覧できる健診結果
その内容は？

Q システム改修をし、自分の健診結果が閲覧できると説明があったが、全ての結果について閲覧できるのか。

A 健康増進課長
今回の改修の対象となるものは、がん検診(胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん)および骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診となっている。

特定健診の結果については、すでに閲覧可能となっている。



マイナポータルでの閲覧
その方法は？

Q 自分の健診結果を閲覧するには、どのようにしたら良いのか。

A 健康増進課長
簡単な方法としては、携帯にマイナポータルアプリを登録し、そのアプリを開いてマイナンバーカードを読み込み、自分の知りたい情報を見に行くという流れになる。

Q 利用方法が分からない人へ使い方を教えるなど、何か考えているのか。

A 健康増進課長
公開は、来年度を予定している。時期が来たら、広報紙などでお知らせしていきたい。

庁舎等補修工事
その内容は？

Q 工事箇所はどこを予定しているのか。

A 総務課長
庁舎の別棟倉庫の防水工事を予定している。8月の大雨で倉庫全体が雨漏りし、現在、ブルーシートで応急処置をしている。

この別棟倉庫は、庁舎と同じく建設から32年が経過し、老朽化が進んでいる。倉庫の使用状況や需要、庁舎駐車場の利用台数の増加など、建設当時と状況は変わってきている。

30年後を見据え、庁舎敷地の有効利用について、今後検討していきたい。



庁舎裏側